

5. 事後調査の全体計画

評価書に記載された計画について、さらに詳細に検討した事後調査計画は表 5-1 に示すとおりです。また、事後調査の全体工程については表 5-2 に示すとおりです。なお、調査の実施にあたっては、工事の実施状況や事後調査結果などを踏まえ、専門家の指導及び助言を得ながら必要に応じ計画を見直すこととしました。

表 5-1 事後調査の計画

調査項目		調査地域・地点	調査期間等	調査方法
動物	カヤネズミ (保全地の造成)	カヤネズミ保全地（内 津川旧河道）	平成 24 年	保全地の整備
	(オギの移植)		平成 25 年	オギの移植
	(カヤネズミの 移植)		平成 25 年	捕獲及び放逐
	(モニタリング)		平成 26～平成 30 年	保全地における架巢 数調査
	ダルマガエル	保全対象のダルマガエルが事業の実施前に消失したため実施できなかった。		
植物	オグラノフサモ	保全対象のオグラノフサモが事業の実施前に消失したため実施できなかった。なお、本種はフサモとオグラノフサモの雑種であることが判明したため、保全対象種からも除外する。		
	ナガエミクリ	水利権の問題等により水路が造成できなくなったことから、本種の環境保全対策は実施できなかった。 なお、対象事業実施区域から約 500m の場所において、本種の良好な群生地が新たに確認された。		

表 5-2 事後調査の全体計画

年次		平成									令和										
		22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
工事 工程	造成工事					■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	調整池築造工事											■	■	■							
	雨水管渠築造工事											■	■	■	■	■					
	道路築造工事										■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
事後 調査	現状調査		■	■																	
	カヤネズミ 保全地の造成			■	■																
	オギの移植			■	■																
	カヤネズミの移植				■	■															
	モニタリング					■	■	■	■	■											
	ダルマガエル		■	■	■																
	オグラノフサモ		■	■																	
	ナガエミクリ		■	■																	